（様式３）

　年　　月　　日

　　　近畿地方環境事務所長 殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 住　　所 | 電話番号（　　　　　　） |
| 氏　 名 |  |
| 職　　業 |  |
| 生年月日 | 年　　　月　　　日生 |

危険猟法許可申請書

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第37条第２項及び同法施行規則第46条の規定に基づき、鳥獣の捕獲等に係る危険猟法の許可を受けたいので、以下により申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| 危険猟法の種類 |  |
| 危険猟法によらなけ  ればならない理由 |  |
| 捕獲等の目的 |  |
| 捕獲等の期間 |  |
| 捕獲等の区域 |  |
| 捕獲等をしようとする鳥獣の  種類及び数量 |  |
| 学術研究を目的とした場合にあっては研究の事項及び方法 |  |
| 危害防止のための措置 |  |
| 麻酔銃を使用する場合は、猟銃・空気銃所持許可証番号及び交付年月日（所持許可者以外が実施する場合は人命救助等に従事する者届出済証明書の番号及び交付年月日を含む） |  |

（備考）

１．危険猟法の種類欄には、使用する劇薬等の名称（麻酔等の場合は主成分を明示すること）を記入し、例えば麻酔銃、吹き矢等の構図等、それを使用する方法を示す図面を添付すること。

２．目的欄には「学術研究（生態調査）」、「管理（被害防止）」「管理（数の調整）」「保護（傷病鳥獣）」等、捕獲等をする事由を記載すること。

３．区域欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入し、捕獲の場所を明らかにした縮尺1:50,000以上の地形図を添付すること。

４．研究の事項及び方法欄には、学術研究を目的として捕獲等又は採取等をしようとする場合にあっては研究の事項及び方法について、詳細に記入すること。

５．危害防止のための措置欄には、人の身体、生命に予期しない危険を及ぼすおそれを回避する観点から行う措置（方法等の工夫など）を具体的に記入する。

６．この申請書には、捕獲目的、方法、捕獲後の処置等を記述した文書等及び捕獲等をする事由を証する書面を添付すること。

７．用紙のサイズは日本産業規格Ａ４版とすること。